

いのちの言の葉2013

富山県教育委員会平成25年度いのちの教育総合支援事業

「盲目の音楽家 YOUTA ピアノ演奏会」

砺波市立砺波南部小学校

平成25年7月12日実施

【いのちの先生】

勝島 佑太先生

・盲目のピアニスト

【授業の概要】

- 1, 目の見えない人の暮らし
- 2, 目が見えなくてもチャレンジしてきたこと
- 3, 夢をもって夢をかなえるために努力する大切さ

(6年生児童の感想)

私は、YOUTAさんの演奏と話を聞いて、あきらめない心と体の大切さを学びました。YOUTAさんは、目が不自由でもできることを探し、あきらめずに続けたから今があると私は思うので、心が動かされました。これからも、私は夢に向かって、自分を大切に生きていきたいです。

(6年生児童の感想)

私は、YOUTAさんのピアノ演奏を聞いたり、話を聞いたりして、体が不自由じゃないのが当たり前でもありがたいことだと分かりました。これからも自分の体を大切にしていきたいです。YOUTAさんは、不自由なところがあっても、前向きに生きていて、夢に向かって進んでいてすごいと思いました。



(6年生児童の感想)

ドラえもんをひいていて、ほんとうにドラえもんを見ているような気持ちになりました。目が見えなくても、ピアノがすらすらひけていて、すごかったです。わたしはYOUTAさんから、助け合っていないとだめだということを教えてもらいました。これから、人がこまっていたら、すすんで助けられる人になりたいです。

(2年生児童の感想)

YOUTAさんのつくった「ゆめひこう」がとてもすてきなうたでした。何も見えないのに、「ドラえもん」や「トトロ」をひいていて、すごかったです。にが手なことを教えてもらったりすることも心にのこりました。